

今月の主な内容  
 2面:震災の学生生活への影響  
 4面:【特集】「リア充」特集  
 6面:野球 同志社3季連続優勝



携帯 HP

神戸大学ニュースネット

# NEWS NET

©神戸大学ニュースネット委員会 http://home.kobe-u.com/top/newsnet/  
 関西学生報道連盟共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-24ダイニビル4階  
 電話06-6307-1315 FAX06-6307-1316 メール newsnet@kobe-u.com

「リア充」ってなに?

⇒4面:リア充特集

6・7月号

# 神戸大動く

## 東日本大震災 復興支援へ



小友中学校の校庭の端から見える風景。校庭の一部が陥落している(5月3日・陸前高田市で 撮影=原田雄人)

### 「自分も何かしたい」

3月11日、未曾有の大震災が東日本を襲った。歴史に刻まれるであろうこの悲劇に、神戸大も動いた。多くの団体による募金活動のほか、被災地へのボランティアバス派遣、東北大への物資支援などを断行。16年前に阪神・淡路大震災を経験した大学として、多方面から復興支援を行っている。また、ニュースネット委員会が5月3日、陸前高田市を訪れ現地取材を行った。【田中郁考】

### ◆学生現地へ

神戸大はボランティアバスを被災地へ派遣した。ボランティア支援室が中心に企画し、23人が4月30日から5月8日にかけて陸前高田市、大槌町などで活動した。「遠野まごころネット」に受け入れてもらい、避難所での足湯、公衆施設や個人宅の整備、散乱したサンマの片づけなどを行った。ニュースネット委員会が密着した5日は、津波の被害を受けた陸前高田市立小友中学校でおよそ10人が活動した。副校長の女性の指示を受け、午前11時すぎから午後3時まで図書館の本の整備などを淡々と行った。小友中学校は校舎1階の天井近くまで津波が襲った。発災から約1カ月経過後、校舎の一部に泥水が残り、体育館の壁が突き破られ吹きさらしになっていた。同中学校では生徒8人が死亡した。作業に従事していた池田慶次郎さん(経済・2年)は「神戸出身で(阪神・淡路大震災のとき)知らない間に助けてもらった。僕も何かしたいと思った」という。「来てみて、実際の被害の大きさを実感した。復興までいったらどれくらいかかるのかな」と話していた。全体の活動の半分程度は、足湯に費やされた。足湯とは、被災者に対する足の湯に足をつけてもらいながら話を聞かせるという活動だ。

### ◆第2次も派遣

ボランティア支援室は、6月28日から7月5日にかけて第2次ボランティアバスを派遣する予定だ。夏期休暇中にも2回派遣する予定で、コーディネーターの藤室玲治さんは「前期に構築した被災地との信頼関係を



図書館から本を運ぶ神戸大生ら(5月3日・陸前高田市立小友中学校で 撮影=原田雄人)

### ◆救済隊 現地へ

ボランティアバスに先立ち、発災した3月11日の夜に現地へ向かったのが神戸大生震災救済隊の2隊員だ。また救済隊は3月14日から学内、三宮、六甲道などで募金活動を行うなどいち早く復興支援へ動いている。5月26日には神戸大生311救済ネット

### ◆東北大を支援ほか

大学側の動きとしてはこのほか、東北大に1万5千食分の緊急保存食と飲料水の寄付、施設職員を派遣を行った。5月27日には東北大学の井上明久総長らが支援の札を兼ねて神戸大を訪れ、福田秀樹学長と会談した。また、都市安全研究センターや復興支援プラットフォームは、東日本大震災支援・調査活動報告会を続けて行い、研究者が支援活動について報告している。

### ◆海軍教授 原発へ

被災地へ向かったのは学生だけではない。3月29日から4月2日にかけて、福島第一原発の冷却活動に伴

### ◆まとめ

このように学生側、大学側共に支援へ動いた。ほかにも、ゼミ単位の現地入りや募金、フォームチャリティーライブなどを紙面に載せきれなかった活動が多数ある。「自分も何かしたい」。その感じた方は、度ボランティア支援室などに相談してみたいかがだろうか。少しの勇気が誰かを救うかもしれない。

### ◆藤室さんの総括

ボランティア支援室の藤室玲治さんは神戸大の支援活動をこう評価する。「私立と比べると大きくはないが、公欠制度や国公立のなかでは進んでいる。また、現地にいきたくて学生は多くいるので、大学はそれに応えていかなければならない。(これから)足湯など神戸大の強みをいかしていききたい。また、学内の取り組みのネットワーク作りや現地の大学との連携をいっしょに」

## 相馬氏が女性化学賞

### 日本人唯一の快挙

国連が定めた「世界化学年」にちなみ「国際純正・応用化学連合」が贈る「女性化学賞」に、神戸大の相馬芳枝・特別顧問が選ばれ、17日に神戸大で記者会見が開かれた。「女性化学賞」はノーベル賞受賞者を含む23人に贈られたが、日本からは相馬特別顧問だけ。1960年代に「銅カルボニル触媒」を発見し、船底や自動車に使う塗料の原料を省エネで合成する方法を確立。また90年代には地球温暖化防止のため、二酸化炭素を再資源化

## 日本経済新聞

まずは1週間無料でお試し下さい。私たちは神戸大学の皆様の就活を応援しています。

お問い合わせ・お申し込み ASA 神戸なだ 神戸市灘区土山町 1-13 078(851)5678 info@asa-kobenada.com

灘区にお住まいの方は、携帯からもお申し込みできます!

## 深江祭 開催

### 深江丸体験にぎわう

第8回深江祭が5月21日と22日の2日間、深江キャンパスで行われた。深江丸が雨降る中ではあったが、深江丸の体験乗船があり、多くの人でにぎわった。昨年は雨天で中止となった体験乗船だが、今年は無事に行われた。船内では、教授が専門用語や周囲の景色を解説。乗船した多くの人が聞き入っていた。久保田美希さん(発達・1年)は「とても心地よい揺れでした。また来年も乗りたいです」と話した。乗組員を務めた海軍科学部生の多くは、「船や海について、楽しみながら関心を持ってもらいたい」と口をそろえた。



出陣待つ深江丸(5月20日・深江キャンパスで 撮影=田中郁考)

### 灘チャレンジ開催

神戸大生が地域住民と作る祭り「灘チャレンジ2011」が、6月5日、都賀川公園(神戸市灘区)で開催された。模擬店が軒を連ねたほか、ステージでは在日コリアンに関する風刺劇やちんどんショーなどが披露され、地域住民らにぎわった。

### 【香川隆彰】

乗組員を務めた海軍科学部生の多くは、「船や海について、楽しみながら関心を持ってもらいたい」と口をそろえた。

## 伏流水

▽神戸大学に入學してはもう1ヶ月。キャンパス内でも何度か迷子になった私。やっと案内板を見ないで歩き回れるようになった。ほんの数日前までは、結果の見えない受験勉強に必死になっていたことを考えると、こうして当たり前のように登校できるというのにはありがたい話だ。▽5月には、人生初めて自分で金を稼ぐという体験もした。私は高校時代にお世話になった個人塾に、今は講師として通っている。絶対に関わらなかった塾内部の資料も、立場が変わった今ではボヤク一つですべて閲覧できてしまう。自分の高校時代のデータもきっちり残されていて、恥ずかしいばかりだ。▽本音で人間の生活など、わずかな時間の流れて激変してしまふものだと思いが知られる。いつの間にか神戸大ニュースネット委員会に入部し、その一員としてこのコラムを書かせてもらっているのも、考えれば不思議な気がする。▽とはいえ、文章力の乏しい私は、まだ記事を書くたび内容をほとんど先輩に校正してもらっている。少し時間はかかるかもしれないが、努力して立派な記事を書けるようになっていきたい。読者の皆さま、どうかよろしくお願ひいたします。

## 陸前高田 現地レポート

ニュースネット委員会は5月2日から4日にかけて津波で大きな被害を受けた岩手県陸前高田市を訪れた。がれきの荒野についてはもはや触れるまでもあるまい。

たまたま居合わせた小友中学校の男子生徒と話すことができた。カメラを向けると幼さの残る笑顔を見せてくれた坊主頭の彼。家は山の方にあり無事で、もう震災前の生活に戻りつつあるという。私は少しためらった後、友人の安否も尋ねた。彼は顔を落としてこう言った。「いや、ちょっと、6人……」。私はそれ以上、言葉をつげなかった。不用意な自分が憎かった。

陸前高田では様々な人と出会った。だが私は「もうだめだ」と諦める人には会わなかった。もう復興への長い道のりは始まっているのだ。

関西の我々がどれほど力になれるかは分からない。しかし、何は出来ずとも関心だけは失ってはならないと思う。【田中郁考】

1960年代に「銅カルボニル触媒」を発見し、船底や自動車に使う塗料の原料を省エネで合成する方法を確立。また90年代には地球温暖化防止のため、二酸化炭素を再資源化

する方法も確立した。また男女共同参画の推進にも貢献。02年には日本化学会が男女共同参画推進委員会を立ち上げ、初代委員長を務めた。これらの業績が認められ、受賞に至った。

▽とはいえ、文章力の乏しい私は、まだ記事を書くたび内容をほとんど先輩に校正してもらっている。少し時間はかかるかもしれないが、努力して立派な記事を書けるようになっていきたい。読者の皆さま、どうかよろしくお願ひいたします。

【片山孝章】

# 打線沈黙

近畿学生野球  
入れ替え戦

## 1部昇格ならず

近畿学生野球春季リーグ1部・2部入れ替え戦の回戦、神戸大(2部1位)と大阪工業大(1部6位)が5月25日、豊中ローズ球場(大阪府)で行われた。神戸大は打線が沈黙し、好機を作れず0-2で敗れた。前日の1回戦も完封負け。通算成績で1部復帰は叶わなかった。

敗因は目に見えていた。打線は目に見えていた。3安打に抑えられた。大工とは昨季の入れ替え戦でも対戦していた。その時も2試合とも完封負け。課題は打撃と実感し、今季に向け打撃の改善に取り組んできたはずだった。リーグ前のオープン戦で

は「良いピッチャーと対戦してきた」と中村監督。1部ピッチャーの球を想定し、今季関西六大学野球を制した関谷大など強豪校との練習試合を組んだ。普段の練習でも守備練習よりも打撃練習に多く時間を充てた。「オープン戦ではシャープに振れていた」と良い雰囲気でもリーグ開幕を迎えた。

結果、昨季は1部リーグ全10試合で28得点だったが今季は63得点。打線は復調をみせた。2季連続で1部リーグを制し1部復帰へ再び挑んだ。

しかし、いざ入れ替え戦になると打線はつながらなかった。「スピードには対

応できても変化には対応できていなかった」と打撃の学生リーダーを担当した伊澤(発達・4年)。2部のピッチャーは打っても、1部のピッチャーの変化球はキレもコースもレベルが違った。バットは空を切った。中村監督は「(2部リーグで打てた分)バットが過信していたかも知れない」と精神面も敗因にあてた。

2度目の挑戦でも1部復帰は叶わなかった。何がチームに足りなかったのかという問いに伊澤は「全然分からない」と苦笑を浮かべた。やれる事は取り組んで来たはずだがなかなか結果が出ない。伊澤は「ま



三振に倒れ最後の打者となった代打の関本(5月25日・豊中ローズ球場で 撮影=松本尚也)

あ何か変えよう」と最後に一言続けた。

次こそ3度目の正直で昇格することが出来るか。9月開幕の秋季リーグまで残された時間は少ない。

【松本尚也】



初戦第3Q、笑顔でエキストラポイントを決めるQB山崎(5月21日・横浜スタジアムで 撮影=原田雄人)

第20回シュガーボウル TOUCHDOWN杯争奪タッチフットボール日本選手権が、5月21日に、横浜スタジアム(神奈川県)で行われた。2年ぶりの出場となる神戸大は初戦、一進一退の攻防の中、強豪ソングリバーズ(関東一般2位)を14-12で下す。準決勝へと駒を進めるも、ヘイルメリー(関西一般1位)の勢いのあるプレーに苦戦し、6-20で敗退。3位という成績で終えた。

準決勝の対戦相手は奇しくも1昨年、準決勝で対戦したチーム。だが、再び勝利することはできなかった。序盤、神戸大はランプレーに持ち込もうとするが、相手チームの厚いブロックに阻まれ進めない。

残念ながら決勝進出は果たせなかった神戸大。しかし、そこで得たものは大きい。特に初戦の相手ソングリバーズは、優勝候補と言われていた。そんな強豪チームに勝てたことに田中(発達・4年)は、「大きな自信が持った」と話す。「試合目から全てを

かけて臨むことで、強気でプレーすることができた」(田中)。

去年のQB山崎が体調不良となり、急きょ武庫女戦からQBとなった山崎。オフシーズンの鍵を握るQBとしてこれからは「パスの精度の低さが課題」と話す。

ペ・サンインコーチは「まだまた全国レベルのチームとは言えない」とコメント。実力以上にメンタル面の弱さも指摘したが、「全国大会に出れたことは良い経験。この悔しさをバネにしてほしい」と話した。この経験を生き、選手たちはもう一つの全国大会であるさらボウルでの連覇を目指す。

【松永さとみ】

女子タッチフット  
シュガーボウル

# 全国の舞台へ

## 実りある敗戦

アメリカンフットボール、神戸大・関谷大が6月11日、王子スタジアム(兵庫県)で行われた。神戸大は、途中チャンスを作りながら、得点には繋がらず、15-17で敗戦を喫した。

関谷大は、去年終盤でFGを取られて負けた相手。1部リーグのチームとして負けられない一戦、奇しくも同じ週末を迎えてしまった。9-14で迎え、ロングゲインを狙っていたという第4Q9分、QB林(海事・3年)からWR麻生(工・2年)へのパスが

成功。「逆転するしかない」という気持ちで必死だった(WR麻生)。62ヤードを奪い、逆転となる劇的なTDを決める。そのまま15-14で逃げ切るかと思われたが、試合終了まで残り55秒、相手に痛恨のFGを許す。それが勝ち越し点となり、去年の屈辱を晴らすことにはできなかった。

「QBとしての責任感が足りなかった」と林は悔しさをにじませる。チームの想い、応援する人々の想いを胸に、選手たちは次なる戦いへと向かう。

【松永さとみ】

## 惜しくも敗北

アメフト龍谷大戦

アメリカンフットボール、神戸大・関谷大が6月11日、王子スタジアム(兵庫県)で行われた。神戸大は、途中チャンスを作りながら、得点には繋がらず、15-17で敗戦を喫した。

関谷大は、去年終盤でFGを取られて負けた相手。1部リーグのチームとして負けられない一戦、奇しくも同じ週末を迎えてしまった。9-14で迎え、ロングゲインを狙っていたという第4Q9分、QB林(海事・3年)からWR麻生(工・2年)へのパスが

成功。「逆転するしかない」という気持ちで必死だった(WR麻生)。62ヤードを奪い、逆転となる劇的なTDを決める。そのまま15-14で逃げ切るかと思われたが、試合終了まで残り55秒、相手に痛恨のFGを許す。それが勝ち越し点となり、去年の屈辱を晴らすことにはできなかった。

「QBとしての責任感が足りなかった」と林は悔しさをにじませる。チームの想い、応援する人々の想いを胸に、選手たちは次なる戦いへと向かう。

【松永さとみ】

# スマイル

笑顔が素敵な神戸大生を紹介するスマイル。第6回は、体育会本部で幹事長補佐を務める松本拓也さん(法・3年)だ。



これまで自立した活動のなかった体育会本部が、今復活しつつある。改革の中心となっている現幹事長の箱崎延成さん(法・3年)を支えるのが、幹事長補佐の松本さんだ。

高校ではハンドボールをやっていたが、大学では運動部には入っていない。しかし、昨年度の1月末に箱崎さんに誘われて以来、体育会本部の仕事に奔走している。クラブの要望を大学側に伝えるなど渉内業務の担当だ。

そんな松本さんの趣味

は旅行。これまで、広島、バリ島などを訪れた。「今年の夏は沖縄へ行きたい」という。また、好きなタイプを聞くと、「元気でパワーをくれるような人。AKBでは大島優子と笑った。今は彼女はいないそう」だ。

施設の老朽化など、神戸大の環境は体育会にとって大きな課題になっている。十分に恵まれているとはいえない。「体育会のクラブの環境が少しでも良くなれば。落ち着いた話しぶりの中に、情熱がにじむ」

【田中郁考】

「絶対には負けない相手」。2ポイントで迎えた後半、A千草(経営・2年)がため押しし、追点を追加し、完勝した。

リーグ3位以内を目標に掲げる神戸大。しかし、第1節はMIKIHOUSEに3-4と惜敗、第2節はMESSE DREAMに1-4と惨敗。不安なスタートを切っていた。

何としても欲しかった勝ち点だ。神戸大は一つ順位を上げて、現在12チーム中7位。この勝利を弾みに、白星を重ねていく。

【田中郁考】

●第20回シュガーボウル TOUCHDOWN 杯争奪タッチフットボール日本選手権(5月11日・横浜スタジアム)

▽1回戦

神戸大	0	0	7	7	=14
ソングリバーズ	0	6	0	6	=12

▽準決勝

神戸大	0	0	0	6	=6
ヘイルメリー	0	7	7	6	=20

●近畿学生野球春季リーグ1部・2部入れ替え戦(5月24、25日・豊中ローズ球場)

▽1回戦

神戸大	000	000	000	=0
大工大	100	001	00	x=2

▽2回戦

神戸大	000	000	000	=0
大工大	000	000	020	=2

【大工大】○平田-京山  
【神戸大】●白木原、赤木-田中祐

●神戸大フットボール・デー(6月11日・王子スタジアム)

神戸大	3	3	3	6	=15
龍谷大	7	0	0	10	=17

●関西フットサルリーグ第3節(6月12日・五色台運動公園アスパ五色体育館)

神戸大	2	2	=4
Hattrick	0	1	=1

●第31回兵庫県日本拳法選手権大会

▽男子有段の部

優勝 上垣内 樹(経済・1年)



劇的なTDを決めたWR麻生(6月11日・王子スタジアムで 撮影=松永さとみ)

関西フットサルリーグ第3節、神戸大Hattrickが6月12日、五色台運動公園アスパ五色体育館(兵庫県)で行われた。神戸大は4-1でHattrickを下し、今季初の白星を上げた。

Hattrickは今季関西リーグに参入してきた「絶対に負けない相手」。2ポイントで迎えた後半、A千草(経営・2年)がため押しし、追点を追加し、完勝した。

リーグ3位以内を目標に掲げる神戸大。しかし、第1節はMIKIHOUSEに3-4と惜敗、第2節はMESSE DREAMに1-4と惨敗。不安なスタートを切っていた。

何としても欲しかった勝ち点だ。神戸大は一つ順位を上げて、現在12チーム中7位。この勝利を弾みに、白星を重ねていく。

しらすな会  
南紀白浜  
学生合宿限定プラン

- ・1泊2食付6300円
- ・さらに最大10%還元
- ・各種スポーツ施設手配万全
- ・ピッチングマシン無料貸出
- ・その他特典多数

電話:0120-53-1662

〒649-2211  
和歌山県西牟婁郡白浜町2525-4  
http://www.shirasunakai.jp/